

ドライバーとは

よく、パソコンを触っていると、ドライバーがどうのこうのと言う話を聞きます。ドライバーと言えば、運転手やねじ締め道具などが頭に浮かびますが、パソコンの世界でもドライバーを使っています。

ドライバーとは、OS（Windows）とハードウェア（プリンターやマウスなど）の橋渡し役を行うソフトウェア（プログラム）です。

電子レンジや炊飯器は、買ってきてスイッチを入れれば直ぐに使えます。しかし、プリンターやマウスは、そうは行きません。

パソコン（Windows）からの印刷は、プリンターであれば、**プリンタードライバー**というソフトを組み込んで、初めてプリンターが動き、印刷が出来ます。

マウスや、USB メモリもドライバーが必要ですが、たいていは Windows の中にあらかじめ組み込まれていて、初めて使うときに自動的にインストールされて使用可能となります。これを、「プラグ アンド プレイ機能」といい、つないだら直ぐに使えると言う意味です。

ドライバーは、どこから提供されているか？

ドライバーは、機器の製造元からソフトウェアとして、提供されてダウンロードして使うことが出来ます。（昔は、機器を買うと CD が付いてきましたね）

OS（Windows 7 とか、10 とか）によって、ドライバーの種類が異なってくる場合がありますので、うまく動作しないときは、機器のメーカーのホームページで確認すると良いでしょう。

例えば、Win7 から Win10 にしたら、動かなくなったという場合、OS に対応した最新のドライバーをインストールすると動く場合があります。

ドライバー自体も、提供後に見つかった不具合修正、機能の追加などのため、バージョンアップを行います。

どうも、機器の動作がおかしいといった場合、デバイスマネージャーから、対象のドライバーを更新する事も必要です。（ちょっと専門的になりますが）

以上